

## 事務事業評価表（公共施設）

評価対象年度	令和 元 年度
1次評価日（主幹等）	2年3月31日
2次評価日（課長等）	2年3月31日

1 事業名	学校体育施設開放管理事業			コード	6107	
2 担当部課	部等	教育部	課等	スポーツ振興課	作成者	小口 康生
3 事業概要	目的体系	基本目標	未来の担い手を育み、生涯を通じて学ぶまち			
		政策	スポーツ・文化の振興	施策	スポーツの振興	
		予算科目	学校体育施設管理事業費	業務委託	なし（直営）	
		実施義務	なし（選択的事業）	国県補助	なし	
		設置条例	岡谷市学校体育施設の開放に関する規則			

## ●事業の内容（D0）

4 施設の概要・設置目的	*対象者（誰のため）、意図（どのような状態にしたいのか）	
施設の概要 （簡潔に）	市内小中学校体育館・校庭等	
目的	対象者	市民等施設利用者
	意図	学校体育施設利用者が、安全・快適に利用できるよう、施設の適切な管理運営を行う。

5 施設の管理運営状況		
指定管理者	元年度指定管理料	円
施設における 通常業務	学校体育施設の使用許可、使用料の徴収、使用の減免許可、施設予約調整会議、学校体育施設の維持管理	
事業の実施内容	<p>（元年度に施設で行った運営事業・自主事業など）</p> <p>月1回開催される予約調整会議等を通じ、利用マナーの周知徹底を図った。また、学校から利用団体のマナー違反についての報告があった場合には、随時利用責任者への指導を行い、利用マナーの向上に努めた。</p> <p>維持修繕については、学校側からの要望等を調査を行い、状況に応じ修繕工事を実施し安全安心に利用できるよう図った。</p>	
前年度の課題 への対応		

6 施設の利用状況	*①は貸館施設のみ対象（ただし年間開設日数は入力） *②・③はどちらかの欄に記入 *			
区分	29年度	30年度	元年度	2年度（予算）
① 施設稼働率	67.9%	70.4%	59.3%	
年間開設日数（日）	359	359	360	359
1日の開設時間（時間）	66	66	66	66
年間利用可能時間（時間）	23,694	23,694	23,760	23,694
年間利用実績（時間）	16,100	16,680	14,081	
② 年間利用者数（人）	0	0	0	0
有料利用者数				
無料利用者数				
減免措置者数				
③ 年間利用件数（件）	16,100	16,680	14,081	14,081
有料利用件数	4,550	4,544	4,102	4,102
無料利用件数	4,299	463	376	376
減免措置件数	7,251	11,673	9,603	9,603
④ 1日あたり利用者数、件数	44.8	46.5	39.1	39.2
⑤ 施設利用状況の説明				

## 7 コストの推移

\* この事業にかかる費用（人件費は、1人あたり年間800万円で換算）

[単位：円]

区分	29年度	30年度	元年度	2年度(予算)
① 直接事業費	1,075,972	1,000,475	885,364	1,308,000
経常経費	1,075,972	1,000,475	885,364	1,308,000
臨時的経費	0	0	0	0
* 臨時的経費の説明				
区分	29年度	30年度	元年度	2年度(予算)
② 人件費	2,400,000	2,400,000	2,400,000	2,400,000
正規職員の人数(人)	0.30	0.30	0.30	0.30
③ 合計コスト(①+②)	3,475,972	3,400,475	3,285,364	3,708,000
前年度比		97.8%	96.6%	112.9%
財源内訳				
一般財源	1,089,962	1,016,370	1,168,534	882,000
特定財源	2,386,010	2,384,105	2,116,830	2,826,000
* 特定財源の説明	施設使用料			
④ 施設使用料年間収入額	2,386,010	2,384,105	2,116,830	2,826,000
⑤ 年間減免措置額	5,308,396	5,726,305	4,780,290	4,780,290
⑥ 受益者負担割合	715.1%	810.7%	779.0%	581.5%
⑦ 活動一単位あたりコスト	216	204	233	
前年度比		94.4%	114.4%	
⑧ コストに関する補足説明				

## ●事業の評価(CHECK)

8 妥当性評価	* 妥当性=行政がこの事業を行う必要性はあるか。	妥当性	高い
評価項目		はい	いいえ
① 現時点で、税金を投入して積極的に関与すべき重要な分野である。		1	
② 民間(企業、NPO、市民団体等)へ委ねることが難しく、市が行う必要がある。		1	
③ 民間(企業、NPO、市民団体等)が行うサービスと類似・競合していない。		1	
④ 国・県の事業、市が行っている他の事業と類似・重複していない。		1	
⑤ この事業の効果は広く市民に還元され、特定者の利益にはなっていない。		1	

9 有効性評価	* 有効性=施設の利用状況(項目6/住民の満足度)は向上しているか。	有効性	標準
評価項目		はい	いいえ
① この事業が属する施策において、この事業の優先度が高い。		1	
② 社会情勢の変化や市民ニーズを把握し、事業の内容に反映している。		1	
③ この事業の目的を達成する上で、現在の方法が最も効果的で低コストである。		1	
④ 施設の利用者が増加した。	1日あたり利用者数、件数 前年度比 84.2%		0
⑤ 施設使用料収入が増加した。	施設使用料年間収入額 前年度比 88.8%		0

## ●改善の内容(ACTION)

10 具体的な課題と改善	
課題	(施設の有効活用、施設サービスの向上、利用状況の向上を図る上で、現在課題になっていること) 利用団体のマナー向上
改善方法	(上記の課題をふまえて2年度以降に実施する、具体的な改善の内容) 予約調整会議等を通じて、マナーの周知徹底を図る。個々のケースに関しても、利用団体に直接連絡を取る等適切な対応を実施する。
改善開始時期	

●次年度の計画 (PLAN)

11 次年度の方針	継続して実施	12 施策評価による2年度の優先度 *H30年度施策評価表より転記すること	B
13 大規模修繕の予定			
予定事業費		円	予定時期
内容			

## 施設の維持管理コスト計算シート

事業名	6107	学校体育施設開放管理事業
-----	------	--------------

## 1 施設の維持管理にかかる直接事業費 単位：円

項目	経常経費	臨時的経費	合計	内訳
消耗品費	234,492		234,492	
光熱水費	232,993		232,993	
修繕料	244,520		244,520	
保険料	2,945		2,945	
使用料及び賃借料	141,264		141,264	
			0	
			0	
			0	
			0	
合計	856,214	0	856,214	

## 2 施設の維持管理にかかる人件費 単位：円

項目	経常経費	臨時的経費	合計
正規職員の人数	0.30		0.30人
合計	2,400,000	0	2,400,000円

## 3 特定収入 単位：円

項目	経常収入	臨時収入	合計	内訳
施設使用料	2,116,830		2,116,830	
			0	
			0	
			0	
			0	
合計	2,116,830	0	2,116,830	

## 4 一般財源 単位：円

項目	経常経費	臨時的経費	合計
合計	1,139,384	0	1,139,384

## 施設の運営コスト計算シート

事業名	6107	学校体育施設開放管理事業
-----	------	--------------

## 1 施設の運営にかかる直接事業費 単位：円

項目	経常経費	臨時的経費	合計	内訳
印刷製本費	29,150		29,150	
			0	
			0	
			0	
			0	
			0	
			0	
			0	
合計	29,150	0	29,150	

## 2 施設の運営にかかる人件費 単位：円

項目	経常経費	臨時的経費	合計
正規職員の人数			0.00人
合計	0	0	0円

## 3 特定収入 単位：円

項目	経常収入	臨時収入	合計	内訳
			0	
			0	
			0	
			0	
			0	
合計	0	0	0	

## 4 一般財源 単位：円

項目	経常経費	臨時的経費	合計
合計	29,150	0	29,150